



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

第53期生徒会発足

生徒会が2年生へと引き継がれました。2月に入って新委員長さんたちによる委員会活動も軌道に乗り始め、日常の活動とともに様々な企画も計画・実行されてきています本格的に第53期生徒会がスタートしました。

2年生、1年生ともに、4月から学校のリーダーになったり、先輩になったりすることを意識した生活が見られ始めています。3学期の間は、3年生からのアドバイスをもらえる貴重な時間です。この期間での活動を通して、更埴西中を背負う存在へと成長していく姿を楽しみにしています。生徒会新役員のみなさんを紹介いたします。

中国教育旅行団来校

1月18日(水)に、中国四川省より広安友誼中学実験学校、中国四川省レイ水実験学校の38名の修学旅行生が来校し、1,2年生と交流しました。7月の中国の中学生、10月のオーストラリアの中学生との交流に続いての国際交流の機会となりました。2年1組と2組の生徒が体育の授業で交流をしたのち、各クラスに分かれて給食の時間を共に過ごしました。言葉は通じなくても心を通い



合わせることでできる西中生であるとの前回までの経験から、安心して見守ることができました。生徒会

役員の皆さんを中心にお見送りをしましたが、前回以上に別れの言葉を交わしたり手を振り合ったりする姿が見られ、わずかな時間ではありましたが良い交流となったことを伺い知ることができました。

調理実習ボランティア

昨年に引き続き、1年生の家庭科での調理実習で、更生保護女性会のみなさんにボランティアとして参加いただいています。今年度は、稲荷山、八幡、桑原の3支部すべての皆さんに参加していただくことができました。学習支援ボランティアとして2年目を迎え、安全面での見守りだけでなく主婦の技をご伝授いただける姿があたり前になってきました。生きた教材として、生徒たちがこれからの生活に活かしていける技能を身につけてくれることを期待しています。



信州ブレイブウォリアーズ挨拶運動



千曲市に本拠地を置く信州ブレイブウォリアーズの皆さんが、ホームタウンへの地域貢献の一環として、市内各校で挨拶運動を行っています。2月7日には、古橋宏樹選手と三ツ井利也選手が本校を訪れ、登校してくる生徒と挨拶を交わしました。終了予定の時刻を過ぎても、部活動を終えて集まってきたバスケ部員たちに囲まれてサインに応じるなど、寒い中でしたが、生徒たちとの気さくにコミュニケーションをとっていただきました。

第53期 生徒会役員

生徒会長		荒井 智洋	
副会長		内山 拓巳	
		飯島奈々帆	
		委員長	副委員長
委 員 会	校風	町田 直樹	倉石 真衣
	学芸	武田 知之	森 まあや
	体育応援	宮澤 祐汰	唐澤 杏菜
	整美	松林 萌	佐藤優之介
	視聴覚	山崎 楓	森 大輝
	図書	山崎 結稀	北川原寛大
	編集	瀧澤 佳江	内藤 向志
	保健	土肥愛花梨	田中 蓮
	造園	塚田 光虹	山崎 浩太
	人権福祉	柳澤 伸	宮本 悠聖
	給食	塚田 夢菜	栗原 慎二
代 議 員 会	議長	小林 歩夢	
	副議長	永井 鈴	
本 部	書記	若林 大翔	小林 真奈
	会計	浦澤 美紅	
	総務	竹腰 大和	唐澤 萌里
会計監査員		河野 優奈	

千曲型コミュニティスクールが設置されました

2月3日に、学校評議員さん、公民館長さん、社会教育委員さん、人権擁護委員さん、育成会長さん、更生保護女性会の代表の方々、主任民生児童委員さん、PTA 正副会長さんにお集まりいただき、千曲型コミュニティスクール設立のための準備会を開催し、更埴西中学校も4月よりコミュニティスクールを発足することとなりました。更埴西中学校コミュニティスクールのあり方については、今後、各家庭、地域の皆様にお伝えをしていながら、広く周知を図っていきたくと考えています。

【コミュニティスクールとは】 <長野県教育委員会 プログラム集より>

信州型コミュニティスクールとは、学校と地域の皆さんが継続的に連携していくための仕組みをもった学校のことです。その特徴は以下のとおりです。

- ①これまで各地域で行われてきた学校を支援する取り組みを土台にします。
- ②学校と地域住民や学校支援ボランティアが集まって話し合いの場を持つ「運営委員会」を設置します。
- ③運営委員会を通じて「こんな子どもに育てたい」という願いや課題を地域全体で共有します。
- ④願いや課題を共有した地域の皆さんに学校支援ボランティアなどに参加いただき、一緒になって子どもを育てていただきます。

*千曲市では、「千曲型コミュニティスクール」と呼称しています。

今年度もすでに総合的な学習に時間や授業、部活動、キャリア教育等において、多くの方々に地域講師や外部指導者として学校教育に関わっていただいております。そのつながりを大切にしながら、お集まりいただいたお役職の方々を運営委員としてお願いし、学校支援ボランティアの組織化を行っていきます。

体罰に関する調査アンケートの報告

「体罰アンケート」へのご協力ありがとうございました。保護者アンケート96.6%、生徒アンケート91.2%の回収率でした。「体罰があった」とする事案はありませんでした。その上で、保護者の方の目線でご意見を寄せていただく等もあり、生徒への指導のあり方に生かすべく受け止めさせていただきました。今後も、「体罰は絶対にしない」の誓いのもと、体罰を根絶していくための取り組みを進めてまいります。

☆ 県教育委員会では、「体罰に関わる相談窓口」を設けています。下記まで、封書、電話、ファックス、メール等で相談ができますので、ご活用ください。

宛先：長野県教育委員会義務教育課「体罰に関わる相談窓口」宛
住所：〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2
電話：026-235-7426（直通） FAX：026-235-7494
E-mail：taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp

- 【1・2年生保護者様へ】*****
- ◇ 「長野県民交通災害共済」のチラシをお配りしました。千曲市では、中学生以下の子どもについて、市で団体加入の手続きを行い全員が長野県民交通災害共済に加入をしています。万一お子さんが交通事故（自転車の転倒など単独事故を含む）に合われた場合には、実入院2日目からお見舞金が支給されますので、チラシの問い合わせ先まで連絡をするようお願いいたします。
 - ◇ 長野県 PTA 連合会「小・中学生総合補償制度」の資料を配布しました。すでに、ご加入いただいている場合は中学卒業まで自動継続です。新たに加入手続きをしていただく必要はありません。学校生活や登校下校、PTA行事、遊んでいるときなど、いつでも、どこでも24時間補償です。自身のケガの補償だけでなく、学校のガラスを割ってしまった、自転車で人にぶつかってケガをさせたなどの賠償責任も補償されます。加入は任意ですが、パンフレットをご一読いただき、ご検討ください。

<文責：教頭 畑>